



おいらについては  
右のQRで  
見てね

# おいら新生児

## おいらが立って歩くまでの 小さいけど大事なプロセス知っというてや



# あおむけでのバタバタめちやくちゃ大切

寝てるだけなんて思わんというてな  
もう、重力との戦いは  
はじまってるんやで



バタバタしたら、  
足の裏が床についたみたい  
だから、ちょっと押してみた



こいつは何？



どうもまだカラダ半分ずつ  
しかわからないみたい  
偉い人が「それは原始反射の  
“非対称性緊張性頸反射と  
いいます」と言ってた



この音なあに？



たくさん触ってくれると  
カラダの地図が  
できやすいんだ



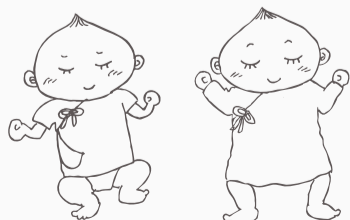
両手が合わさった  
(正中認識)

真ん中がわかるから  
左右がわかる  
両手を合わせるの大切



生後3ヶ月くらいまでの赤ちゃんが、仰向けでバタバタしている様子のことを「ジェネラルムーブメント」といいます。反射的にしているわけでもなく、脳からの指令で動いているのでもないという、この期間だけの特別な動きです。こうした動きをするには訳があって、バタバタをたくさんしている間に、自分のカラダが外の世界に触れ、「これは自分のカラダ」「これは違うみたい」など分ける作業をしているのです。学術的に言うと「シナプスの過剰形成から刈り込みへと発達する神経系の要因が大きく関わっている」とのこと。赤ちゃん自身が、「やりきったぜ」と思ったら、たぶん次の発達に向かうのだと思います。この時期のバタバタを「思う存分やってみな」と見守りましょう。「生後発達期の脳内で普遍的に起こる重要な現象であり、成熟した機能的神経回路を作るために不可欠な過程」なので、とても大事な成長の過程です。

■寝ていたばかりの赤ちゃんも、少しずつ起きてい時間が増えていきます。その少しの時間が効果的にカラダを動かせるように、腕や股関節が動かしやすい服装を心がけてください。



■赤ちゃんはお布団で寝ていますが、目を覚ましてい時間は、少し硬さのあるところの方が、重力に対してカラダを動かしやすくなります。理想的なのは畳です。畳は硬さもあるけど、硬すぎない優れもの。ない場合は、床の上にマットなどを敷いてもいいですよ。

■今お伝えしているのはとても地味な赤ちゃんの動きです。でも、重力のある世界で手足を動かす動きは、この後の様々な動きを獲得していくための基礎となるのです。例えば、しっかり根を張ると、たくさん実がなる木に育つように。この時期を大切にしてくださいね。

